

# 白鷹町の決算概要報告



## 一般会計

歳入

107億383万円

歳出

96億6,376万円

一般会計の歳入決算額（税金など町へ入ってきたお金）は107億383万円で前年度に比べ2億7,187万円（2.5%）減、歳出決算額（町が使ったお金）は96億6,376万円で前年度に比べ、4億5,628万円（4.5%）減となりました。歳入歳出差引は10億4,007万円、翌年度へ繰り越した事業に充てるべき財源を控除した実質収支は8億9,369万円となりました。

¥

## グラフで見る一般会計（歳入・歳出）

歳入決算額 107億383万円

前年度比2億7,187万円減（2.5%減）

歳出決算額 96億6,376万円

前年度比4億5,628万円減（4.5%減）



※地方財政状況調査による区分により集計しています。

※項目ごとに四捨五入しているため合計などが一致しないところがあります。



## 特別会計と公営企業会計

特別会計			
会計名	歳入	歳出	差引
十王財産区	374万円	26万円	347万円
下水道	4億3,802万円	4億1,232万円	2,570万円
国民健康保険	15億5,524万円	14億8,990万円	6,534万円
農業集落排水	1億5,782万円	1億5,133万円	648万円
介護保険	16億8,218万円	16億495万円	7,723万円
後期高齢者医療	1億6,455万円	1億6,164万円	290万円

公営企業会計			
事業名	歳入	歳出	差引
水道事業(収益的収支)	3億2,764万円	2億8,575万円	4,190万円
水道事業(資本的収支)	1,605万円	1億6,883万円	▲1億5,278万円
病院事業(収益的収支)	12億2,692万円	11億9,339万円	3,354万円
病院事業(資本的収支)	2,175万円	1億2,276万円	▲1億101万円

※万円未満端数調整

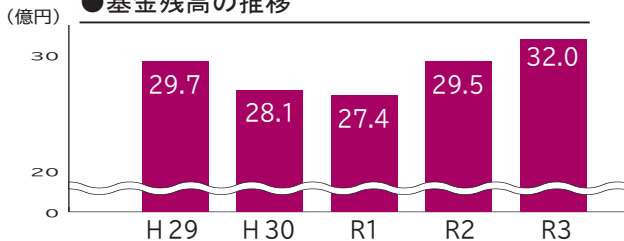
## 財政状況について

### 積立基金の残高

基金とは、貯金にあたるものです。大規模な災害等に備えて積み立てる財政調整基金や公共施設の整備等へ活用するために備えた公共施設整備基金、ふるさと納税制度を利用し、町へ寄附をいただいたお金を積み立てたふるさと応援基金などがあります。

令和3年度基金残高	32億 84万円
財政調整基金	10億 594万円
減債基金	7億 752万円
公共施設整備基金	6億1,361万円
福祉振興基金	1億2,628万円
ふるさと応援基金	5,416万円
その他の基金	6億9,333万円

#### ●基金残高の推移

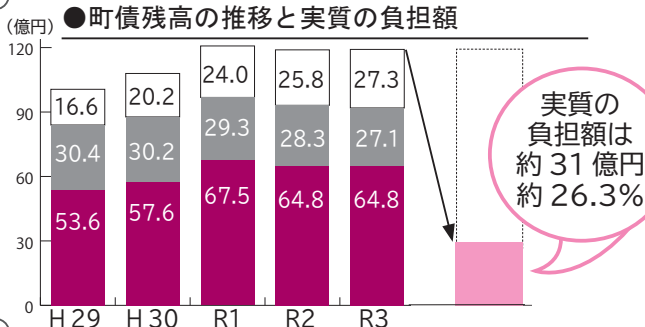


### 町債残高の推移と実質の負担額

町債とは町の借金のことです。令和3年度末の町債残高は119億1,693万円となりました。借金の返済金に対して地方交付税により国から配分される収入を差し引いた実質の負担額は約31億円(約26.3%)となりました。

令和3年度町債残高	119億1,693万円
過疎対策債	64億8,197万円
臨時財政対策債	27億 943万円
その他町債	27億2,554万円

#### ●町債残高の推移と実質の負担額



自治体の財政状況を判断する「健全化判断比率」は全て早期健全化基準を下回っており良好な状態です。

引き続き健全な財政運営に取り組んでまいります。

### 公営企業における資金不足比率はなし

水道、町立病院、下水道、農業集落排水の全会計について、資金不足比率は発生していないため比率はありません。

### 健全化判断比率の4つの指標は良好

指標	白鷹町	早期健全化基準(※)
実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	14.85%
連結実質赤字比率 一般会計、特別会計、公営企業会計を合わせた赤字の割合	赤字なし	19.85%
実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	9.3%	25.0%
将来負担比率 将来負担となる借金の割合	38.8%	350.0%

(※)この数値を上回ると健全化への取組が必要になります。

■ 過疎債  
■ 臨時財政対策債  
■ 実質負担見込額  
□ その他町債

※過疎対策事業債：過疎地域に指定された団体が発行できる地方債。返済金の7割が地方交付税により措置される。  
※臨時財政対策債：国の財源不足を補うための地方債。返済金の全額が地方交付税により措置される。

令和3年度は、このように  
お金が使われました！



歳出を町民一人あたりでみると

総額 74 万 7,795 円 (前年比 ▲ 2 万 1,497 円)

※町民一人あたりの金額は、令和4年3月31日現在の町の住民基本台帳人口 1 万 2,923 人で割ったものです。

**民生費** 使われたお金…22億7,652万円

子育て支援として町独自の第3子以降の保育料、副食費無償化による子育て環境の充実を図ったほか、令和4年度からの全世代での保育料無償化に向け、条例改正及び制度の周知等に取り組みました。また高齢者福祉事業として地域住民が主体となり地域課題等の解決に結びつけるための仕組みづくりの支援や障がい福祉サービスの提供などを行いました。



**総務費** 使われたお金…12億6,930万円

地区コミュニティセンターを核とした地域づくりの支援やデマンドタクシーの公立置賜総合病院までの町外延伸便と荒砥・鮎貝市街地の循環便を組み合わせた新たな実証実験など、より暮らしやすいまちづくりを進めました。また、デジタル化・オンライン化に対応するため「白鷹町ICT推進方針」を策定しました。



**土木費** 使われたお金…10億7,016万円

町道や橋梁の長寿命化工事や河川の支障木の撤去など重要インフラの安全確保を行うとともに、定住促進・転出抑制に向けた対策を強化するため新たな子育て支援住宅の整備（4棟）を行いました。



**公債費** 使われたお金…10億6,242万円

建設事業などを行うために借り入れたお金の返済を行いました。

**衛生費** 使われたお金…8億5,749万円

新型コロナウイルスワクチン接種の実施や健康寿命の延伸にむけた健康診査の受診率向上へ取り組んだほか、母子保健事業において3歳児を対象とした眼科健診を実施し、お子さんの弱視等の眼科異常の早期発見を図るなど新たな取組を行いました。また、地球温暖化防止の取組として脱炭素社会の実現に向けた「ゼロカーボンシティ宣言」を行い2050年二酸化炭素排出量実質ゼロに取り組むことを表明しました。



**災害復旧費** 使われたお金…7億3,960万円

令和2年7月豪雨災害により被災した道路や河川などの復旧工事を行いました。

**教育費** 使われたお金…7億3,373万円

ICT支援員の配置による授業支援などデジタル学習環境の充実を図るほか、老朽化した学校施設の改修等を行いました。また、歴史民俗資料館「あゆみしる」をプレオープンするなど生涯学習、文化振興に取り組みました。



**農林水産業費** 使われたお金…6億2,744万円

コロナ禍における米価の大幅下落対応として、稲作農家の次期作へ対する緊急支援を実施したほか、農家所得の向上を目的とした産地づくりの推進、増加する有害鳥獣被害対策としてデジタル技術を活用した捕獲罠の設置などの支援を行いました。また、木材利用の拡大に向け、取組の指針となる「白鷹町森林とつながる暮らしビジョン」等の計画づくりに取り組みました。



**商工費** 使われたお金…4億7,249万円

コロナ禍における経済対策として全町民への地域応援券の配布や飲食店のテイクアウト等に対する助成、事業継続に係る支援を行いました。また中山地区に約1haの大紅花畑を整備し、更なる紅花の生産振興と観光振興に取り組みました。

**消防費** 使われたお金…4億2,431万円

消防団員の報酬引き上げ等による処遇改善や、副団長を2名体制にするなど組織強化を行ったほか、自主防災組織を対象に防災訓練等に対する支援を行いました。



**その他** 使われたお金…1億3,031万円

企業における従業員の正社員化に向けた支援を行ったほか、議会運営に必要な経費を支出しました。